

＜香川県内の経済動向＞（2019年2月作成分）

現在の景気：回復している。

3か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：

- ① 着実に持ち直している。
- ② 12月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比0.1%減と2カ月連続で減少。店調後は前年比3.8%減と6カ月連続で減少。12月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比1.4%増と2カ月連続で増加。12月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）1.7%増と3カ月ぶりに増加、ドラッグストアが同6.0%増と45カ月連続で増加、ホームセンターが同2.9%減と3カ月ぶりに減少し、全体では同2.3%増と14カ月連続で増加。12月の乗用車新車販売は、小型乗用車で前年比4.3%減、普通乗用車で同水準だったものの、軽乗用車で同3.2%増加し、全体では前年比0.2%増と3カ月連続で増加。

住宅建築：

- ① 貸家を中心に減少している。
- ② 12月の住宅着工戸数は、持家で前年比1.7%減、貸家で同40.0%減、分譲住宅で同56.6%減少し、全体では前年比25.8%減と2カ月ぶりに減少。

設備投資：

- ① 増加している。
- ② 「全国企業短期経済観測調査結果（2018年12月）-香川県-」における2018年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、全産業で前年度比54.8%増加見込み。

公共工事：

- ① 減少傾向にある。
- ② 12月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比78.4%減、県で同46.8%減、市町で同24.1%減少し、全体では同55.5%減と2カ月ぶりに減少。4～12月の年度累計では前年比10.4%減少。

輸出：

- ① 持ち直している。
- ② 12月の県内通関輸出額は、前年同月では175億円だったタンカー輸出額が全減となったことから、全体では前年比61.4%減と5カ月ぶりに減少。1～12月の累計では前年比30.2%増加。

生産活動：

- ① 振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
- ② 11月の鉱工業生産指数(季調済)は、前月比2.5%増加し、99.7と3カ月ぶりに上昇。化学・石油石炭製品工業(医薬品)、はん用・生産用機械工業(クレーン・ころ軸受)などで上昇。非鉄金属工業(電気金)、電気機械工業(半導体集積回路・混成集積回路)などで低下。

観光：

- ① 弱さがみられるものの、堅調に推移。
- ② 12月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比4.6%増と2カ月ぶりに増加。1~12月の累計では前年比6.3%減少。

雇用情勢：

- ① 好調に推移。
12月の有効求人倍率(季調済)は、前月比0.04ポイント低下の1.75倍。新規求人数(原数値)は、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業等で増加し、製造業・サービス業等で減少となり、全体で前年比4.1%減と3カ月ぶりに減少。

(トピックス)

○日本の情報を英語で発信している国内最大級の外国人向け情報サイト「ガイジンポット」を運営するジープラスメディアは、「2019年に外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」で小豆島を4位に選んだ。瀬戸内国際芸術祭の開催や美しい景色、豊かな自然の中で遊べることなどを評価した。

ランキングでは外国人ライターの声などを基に、19年に特徴的なイベントが開かれることや近年人気の高まっている体験型観光が楽しめることなどを基準にトップ10を決めた。今回が3年目で、県内から選ばれるのは初めて。

小豆島については「地中海と日本の雰囲気がある穏やかな島」と紹介。棚田や夕日などの絶景、オリーブ畑、しょうゆのソフトクリームなどを挙げ、夏のスポーツアクティビティーや秋の紅葉も薦めている。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	●	○	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	●	○	○	○
住宅建築	○	●	○	○	○	●	○	○
設備投資	○	●	○	●	○	○	○	○
公共工事	○	○	●	○	○	●	○	○
輸出	○	●	○	○	●	○	○	○
生産活動	○	●	○	○	○	●	○	○
観光	○	●	○	○	●	○	○	○
雇用情勢	○	●	○	●	○	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					